

<第6節終了時点順位表>

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒澤大学	5	0	1	12	5	+7	16
2	筑波大学	5	1	0	14	4	+10	15
3	国士館大学	5	1	0	11	5	+6	15
4	東京学芸大学	3	3	1	6	5	+1	10
5	亜細亜大学	2	2	1	5	12	-7	7
6	順天堂大学	1	5	0	6	11	-5	3
7	中央大学	1	5	0	3	9	-6	3
8	日本大学	0	5	1	2	8	-6	1

★得点ランキング★

6ゴール	鈴木孝明(筑波大)
4ゴール	山崎雅人(国士大)
3ゴール	町田多聞(筑波大)
	赤嶺真吾(駒大)
	原一樹(駒大)
2ゴール	中田洋介(駒大)

ほか10名

★アシストランキング★

4アシスト	兵働昭弘(筑波大)
	養父雅仁(国士大)
3アシスト	松浦 淳(東学大)
	藤本淳吾(筑波大)
	鈴木孝明(筑波大)
	中田洋介(駒大)

中田が点を決めると自然に中田を中心に歓喜の輪が。中田を中心に今年のチームは一戦一戦成長を遂げている



鈴木(右)を中心に守備陣は粘り強く守り、東学大に得点を許さなかった

5月17日 14:30	江戸川陸上競技場
駒大 3(0-0)0東学大	(4位・10)
(1位・16)	

得点者(アシスト)

- 【駒】47分:原一樹3(巻佑樹2、桑原靖1)
- 【駒】78分:中田洋介2
- 【駒】87分:橋本早十1(中田洋介3)

KOMAZAWA	TOKYOGAKUGEI
GK①牧野利昭(2)	GK①森本悠馬(3)
DF②桑原 靖(2)	DF②紺多章一郎(4)
DF③鈴木祐輔(3)	(78分)②金澤大將(2)
DF④廣井友信(1)	DF⑤岩政大樹(4)
DF⑤筑城和人(1)	DF⑥鈴木博之(1)
MF⑥中後雅喜(3)	DF⑦桶田 龍(4)
MF⑩橋本早十(4)	MF⑥保坂一成(3)
MF⑧中田洋介(4)	MF⑩榎本周平(4)
MF④小林 亮(3)	MF⑥太田匡人(3)
FW③原 一樹(1)	(81分)③塚野一哉(3)
(82分)①関 光博(3)	MF⑧岡島弘高(3)
FW③巻 佑樹(1)	FW⑦山下暁之(3)
(89分)②赤嶺真吾(2)	(70分)②森本洋平(1)
S U B	FW⑨松浦 淳(4)
GK④三栗寛士(1)	S U B
DF⑥栗原建次(3)	GK③三澤健一(2)
DF⑦松村竜祐(2)	DF②高司裕也(4)
MF⑦岩本哲也(3)	DF⑩瀬田達弘(2)
MF⑦田中成信(4)	MF②江口健一(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	松本直也

警告(C)/退場(S)

- 【駒】11分:筑城和人(C)、77分:原一樹(C)
- 【東】62分:榎本周平(C)、89分:鈴木博之(C)、89分:岡島弘高(C)

[シュート]15:8[枠内シュート]9:3[決定機]5:6[CK]9:14
 [CK]1:3[PK]0:0[直接FK]24:19[間接FK]1:1[OS]1:1
 [支配率]2%:2%[主審]前之園晴廣[観衆]約800人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機、支配率は本誌記者による記録

CLOSE UP

負けない男・原一樹

「俺、去年の9月から公式戦負けてないんですよ。だから今日は江戸川のジंकスに勝ってやろうと思って」試合後、原は勝利の余韻冷めやらぬな話した。たしかに、国体優勝、高校選手権優勝などタイトルを総なめにしている原。しかし、正確には高校選抜でレバークーゼンにPKで負けているが、本人曰く「俺の中でPK負けは負けじゃないんで」と言う。強引ではあるが、その姿勢、負けん気の強さがここまでの成績を生み出しているのかもしれない。このジंकス果たしてどこまで記録を伸ばせるのか...



この日も貴重な先制点を決めた原。その勝負強さはたしかに驚異的だ



だめ押しとなる3点目を決めた橋本。鮮やかなボレーシュートは圧巻だった

情報

<1リーグ結果>

5月18日に行われました国士大Aとの対戦は1-3と敗れてしまいました。得点者とメンバーは以下の通りです。

[得点者]水原貴志(佐々木滋)

【駒大メンバー】

GK中地紹

DF小椋慶一、沼守宏樹、水原貴志、相山泰紀

MF関口朋之、石井昇一(45分・鎌田正輝)、佐々木滋(82分・新堀亮介)、宮崎大志郎

FW根本真吾(65分・覚張真也)、奥村英樹(70分・笹岡新伍)

SUB

GK三栗寛士、MF橋原徹也、MF柳崎祥兵

(内田浩嗣)

次節、昨年最後まで優勝を争った筑波大との対戦。筑波大は昨年メンバーが多数残っており昨年の借りを返そうと高いモチベーションで臨んでくるに違いない。しかし、駒大も順位の上昇とともにチームの調子も上向きになってきている。果たして、5月25日、西が丘の地で首位ターンを果たすのはどちらのチームののだろうか?近年、大学サッカーを引っ張ってきている両雄が次節激突する。

で飾り6節終了時点で今季初の首位に立った。終わってみればジंकスなどどこ吹く風。3・0の快勝。「前半0・0で耐えられたので後半はいつもの自分達のサッカーが出来たと思います」(中田)と言うように今日は駒大サッカーがはまった。その中でも驚くべきはここまで2失点しかしてなかった東学デフエンスから3得点を奪ったこと。まだまだ昨年の超攻撃的サッカーとまではいえないが勝負強さという面では昨年より上かという成績にそれがこの5勝1分という成績にそれがいる。(昨年は6節終了時点・4勝2敗)。